

国立長寿医療研究センターの ご案内



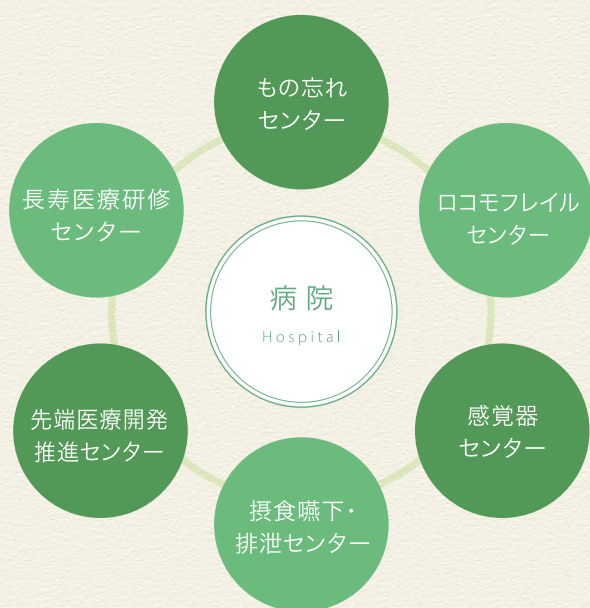
国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

理念

私たちは高齢者の
心と体の自立を促進し
健康長寿社会の構築に
貢献します。



【 国立長寿医療研究センター構成図 】



基本方針

- 1 人の尊厳や権利を重視し、病院と研究所が連携して高い倫理性に基づく良質な医療と研究を行います。
- 2 病院では高度先駆的医療、新しい機能回復医療、包括的・全人的医療を行います。
- 3 研究所では老化と老年病の研究、新しい医療技術の開発、社会科学を含む幅広い研究を行います。
- 4 老人保健や福祉とも連携し、高齢者の生活機能の向上をめざします。
- 5 成果を世界に発信し、長寿医療の普及に向けた教育・研修を行います。

私たちのあゆみ

【開設まで】

- 1966 旧国立愛知療養所と旧国立療養所
昭和41年 大府荘が組織統合し、国立療養所
中部病院として設立
- 1995 研究棟(第1研究棟)竣工
平成7年 国立療養所中部病院
長寿医療研究センター開所
(4部13室)
- 1998 高齢者包括医療病棟(50床)の開設
平成10年 長寿医療研究センターの
体制整備終了(8部21室)

【開設後】

- 2004 国立長寿医療センター
平成16年 (国立高度専門医療センター)開設
総長大島伸一就任

- 2009 在宅医療支援病棟開棟(病床20床)
平成21年

【独立行政法人移行後】

- 2010 独立行政法人国立長寿医療研究
平成22年 センター開設
認知症先進医療研究センター開設
もの忘れセンター(外来部門)
開設
- 2011 歯科口腔先進医療開発センター
平成23年 開設
もの忘れセンター(西病棟)竣工
(改修)
第2研究棟竣工
もの忘れセンター(入院部門)開設
(病床30床)

- 2012 老年学・社会科学研究センター開設
平成24年 バイオバンク開設
回復期リハビリテーション病棟開設
動物実験棟竣工

- 2013 バイオバンク棟竣工
平成25年 長寿医療情報センター開設

- 2014 第2代理事長(総長)鳥羽研二就任
平成26年 治験・臨床研究推進センター
(現先端医療開発推進センター)開設
長寿医療研修センター開設

- 2015 独立行政法人通則法等の改正により
平成27年 国立研究開発法人化
健康長寿支援ロボットセンター開設
メディカルゲノムセンター開設

- 2018 新外来棟(第1診療棟)竣工
平成30年 ロコモフレイルセンター開設
感覚器センター開設

- 2019 第3代理事長 荒井秀典就任
平成31年

- 2021 ジェロサイエンス研究センター開設
令和3年 研究推進基盤センター開設

- 2022 新病棟(第2診療棟)竣工
令和4年 摂食嚥下・排泄センター開設

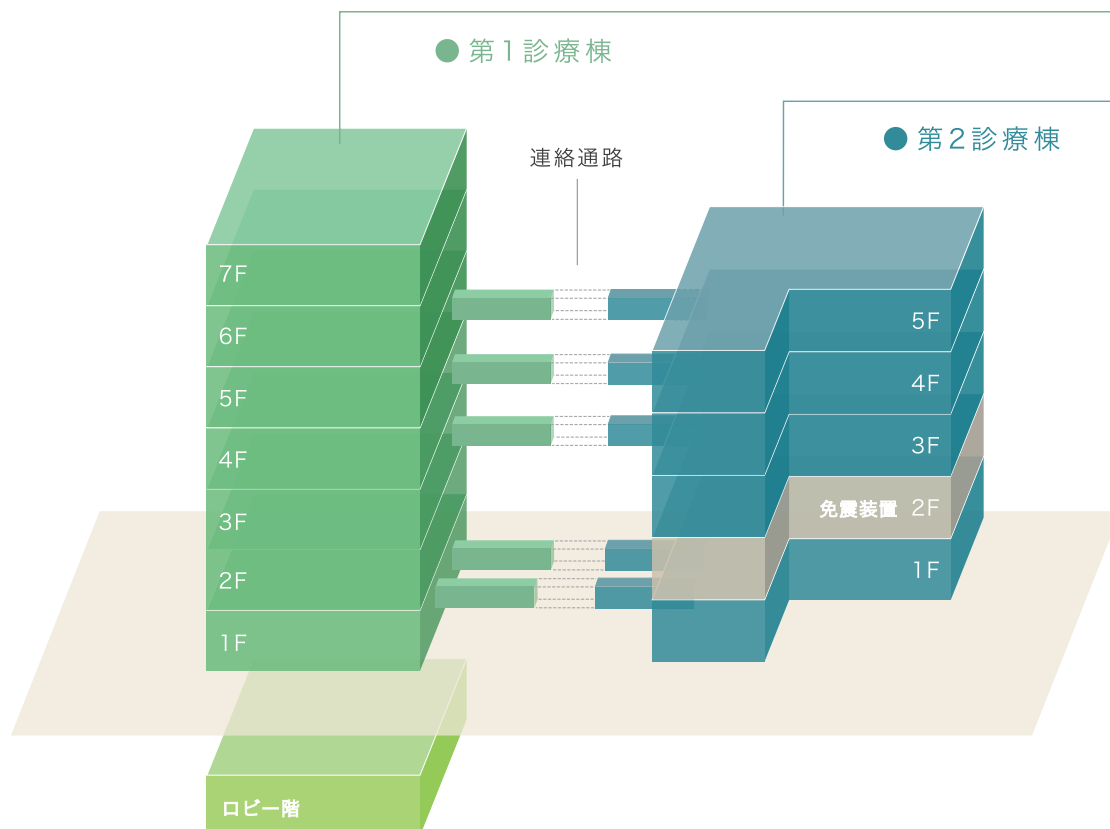


History

病院概要

当センターでは、高齢者の疾患を診断・治療するだけでなく、科学的な知識と技術を通じて高齢者の心と体の自立の低下を防ぎ、生活機能や生活の質の改善を目指した医療を実践しています。

●医療法承認病床数：383床



●診療棟

第1診療棟

7F	食堂・多目的ホール
6F	管理部門
5F	手術室
4F	ロコモフレイルセンター・ リハビリテーション科 ^{※2}
3F	感覚器センター・検査科
2F	放射線科・内視鏡室
1F	外来・中央処置室
ロビー階	総合受付・地域医療連携室 ^{※1} ・外来・喫茶

第2診療棟

5F	病棟【感覚器 / ロコモ・整形外科】 病棟【外科フレイル・HCU】
4F	病棟【回復期リハビリ】 病棟【もの忘れセンター】
3F	病棟【内科フレイル1】 病棟【内科フレイル2】
1F	もの忘れセンター外来 脳・身体賦活リハビリテーション室 ^{※2}

地域包括ケア病棟

※1 地域医療連携室

地域の医療機関等と連携を図りながら、患者さんが安心して治療と療養生活が送れるよう情報共有を行いつつ、円滑な入退院支援を実践します。また、社会福祉士により、さまざまなご相談に対応しております。地域の皆様が安心して住み慣れた場所で暮らし続けられるよう病院内外で活動し、その評価を行うなど研究部署としても機能しています。



※2 リハビリテーション科

リハビリテーション科は、広い室内に最先端の評価機器やロボットを完備しています。これらの機器を用いて、運動機能や認知機能の回復だけでなく病態解明を目指すとともに、日常生活や社会生活への復帰を支援しています。認知症の方とご家族に対する独自の外来リハビリテーションプログラムや訪問リハビリテーションも積極的に実施しています。



診療科

高齢者の循環器、消化器、神経、代謝、骨、関節、泌尿器などの疾病を診断・治療するだけでなく、認知症、うつ、尿失禁、転倒などの老年症候群に対して、科学的な知識と技術を通じて最適な医療を提供します。

消化器内科

消化器内科は、外科的手術に頼らず、患者さんの日常生活動作、生活の質（QOL）の維持・向上を第一に考慮した内視鏡的治療、がんの局所的治療を中心とした高齢者に優しい医療を目指しています。

代謝内科

代謝内科は、高齢化社会に必要な長寿医療を見据え、糖尿病・甲状腺疾患など高齢者に多い代謝・内分泌疾患および骨粗鬆症等を中心とした診療を担当しています。

血管外科

血管外科では、動脈、静脈、リンパ管の疾患を扱っています。主な対象疾患は閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤、下肢静脈瘤、下肢深部静脈血栓症、リンパ浮腫などです。

老年内科

高齢者の総合的な内科診療を行っています。いくつもの病気を併せ持つ方や、体の機能が低下してきた方、受診すべき診療科がわからない方は、老年内科へご相談ください。

脳神経内科

脳神経内科では、脳・脊髄・末梢神経・筋肉の病気を専門的に診療しています。認知症、脳血管障害、神経変性疾患、筋炎、末梢神経障害などが主な病気です。

循環器内科

循環器内科は、動脈硬化や心臓疾患が治療の対象で、高血圧・脂質異常症、心筋梗塞・狭心症・心不全・末梢動脈疾患・心臓弁膜症・不整脈などが診療専門領域です。

消化器外科

消化器外科では、一般外科疾患を中心に、消化管・肝胆膵外科におけるさらに高度な治療や、乳腺に対する診断と治療、および内分泌疾患の外科的治療も行っています。

脳神経外科

脳神経外科は、脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷などを、外科的な方法によって治療する診療科です。特に水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫の手術症例が多くあります。

精神科

精神科では、主として高齢者の認知症、うつ病、幻覚妄想状態を診療しています。特に認知症に伴ってくる興奮、幻覚、物取られ妄想などに関しては、当科へご相談ください。

呼吸器内科

呼吸器内科では、肺や気管支に関連した病気の診断と内科的な治療を実施しています。慢性閉塞性肺疾患（COPD）や気管支喘息の治療の大部分は、吸入薬を中心とした最新の薬物治療を実施しています。

血液内科

血液内科は、白血球・赤血球・血小板などの異常に加えて、リンパ節・脾臓等の病気を診療する科です。血液検査値の異常やリンパ節の違和感がある場合などはご相談ください。

整形外科

整形外科では、運動器（骨、脊椎、関節、筋肉、神経など）のけがや病気の専門的医療を行っています。手術治療のみでなく薬物療法や運動療法などの保存治療にも力を入れています。

皮膚科

皮膚科では、成年から高齢者の皮膚科疾患全般を扱っております。病院の皮膚科部門として、手術や入院治療などを必要とする患者さんを主な対象にしています。

泌尿器外科

泌尿器外科では、尿路（腎・尿管・膀胱・尿道）、副腎、男性器（前立腺、精巣等）の疾患に対し、生活の質（QOL）の維持・向上を目指した診療を行っています。

眼科

眼科では、白内障・緑内障・加齢黄斑変性・眼瞼下垂などの加齢に伴う眼科の疾患を含めた目にかかわる症状全般の外来診療に加え、先進的医療にも取り組んでいます。

耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科では、耳、鼻、のどの病気の診断、治療をしています。また、人工内耳手術やメニエール病の病態解明、認知症の方への補聴器導入などの先進的医療にも取り組んでいます。

放射線科

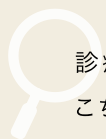
放射線科（診療部）では、画像診断を担っており、一般撮影、血管撮影、CT、MRI、核医学診断および骨密度測定を行っているほか、PET 検査も行っています。

リハビリテーション科

リハビリテーション科は、高齢者を専門的に扱う各診療科と協力し、治療と並行して最先端機器を用いた先進的なリハビリテーションを実践しています。

歯科口腔外科

歯科口腔外科では、一般の歯科医院では十分な対応が困難な高齢者の方を主な対象として、生活の質（QOL）の維持・向上を目指した歯科診療を行っています。



診療科についての詳細情報は
こちらからご覧いただけます。



国立長寿医療研究センターHP
診療科のご紹介



専門外来

より専門的な医療を提供するため、次の専門外来を設置しています。

- ・もの忘れセンター外来
- ・ロコモフレイル外来
- ・感覚器外来
- ・睡眠呼吸外来
- ・動脈硬化外来
- ・止血・血栓外来
- ・フットケア外来
- ・肛門外来
- ・乳腺外来
- ・骨粗鬆症外来
- ・リウマチ外来
- ・足の腫れむくみ外来
- ・正常圧水頭症外来
- ・すっきり排泄外来
- ・補聴器外来
- ・嗅覚味覚外来
- ・口腔ケア外来
- ・総義歯外来
- ・緩和ケア外来
- ・心の元気外来
- ・低栄養外来
- ・看護外来



専門外来についての詳細情報は
こちらからご覧いただけます。



国立長寿医療研究センターHP
専門外来のご紹介



病院内センター案内

老化に伴う様々な病態に対し、総合的なアプローチを行い、
質の高い医療を提供するため、6つの病院内センターを設置しています。



1 もの忘れセンター

もの忘れセンターでは、認知症の診断・治療をはじめ、認知症の行動・心理症状や身体合併症の治療、リハビリテーション、本人・家族の診断後支援、新しい治療薬の治験等を行っています。これらの活動を通じて、認知症の人と家族の生活を包括的かつ継続的にサポートします。



2 ロコモフレイルセンター

主に体の自立を促すため、医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床研究コーディネーターなどの様々な職種が、それぞれの専門的な視点から高齢者の状態改善のためにどのようなことをすべきかを連携して検討する総合診療システムを備えています。



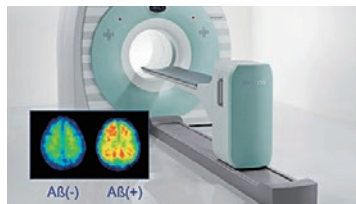
3 感覚器センター

感覚機能は高齢者の生活の質を高めるために重要です。視覚、聴覚に加え味覚、嗅覚、平衡感覚など感覚器機能を総合的に評価しています。高齢者の自立の障害となる感覚器障害の早期発見や疾患医療を提供します。難治性疾患への新規治療法の開発や再生医療のための研究を行っています。



4 摂食嚥下・排泄センター

摂食嚥下・排泄センターは生活の基本である食事と排泄を扱います。摂食嚥下、排泄で困っている高齢者は多く、食事形態や姿勢を調整することで安全な経口摂取を実現したり、排尿困難や便秘などの方により高い生活の質（QOL）を提供します。



5 先端医療開発推進センター

当センターにおいて質の高い治験や臨床研究を円滑に実施できるよう支援するため、先端医療開発推進センターには、『治験・臨床研究推進部』『臨床研究支援部』『品質管理・情報解析部』『開発・連携推進部』の4部が設置されています。

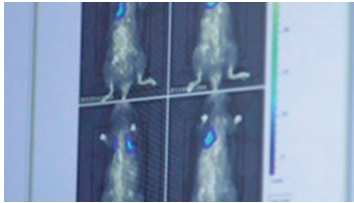


6 長寿医療研修センター

健康長寿社会の構築に資する人材の育成を目的として設立。臨床や研究で得られた知識や経験を医療・介護・行政等の専門職や一般の方にお伝えし、我が国全体の高齢者の医療・ケアの向上や高齢者ご自身の心と体の自立に寄与することを目的として日々活動しています。

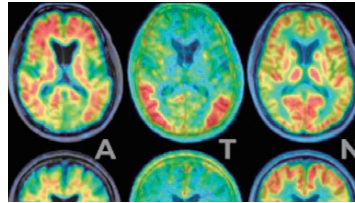
研究所内センター案内

高齢者が健康に暮らせる期間の延伸、いわゆる「健康長寿」に資する研究を、集中的かつ効率的に推進するため、6つの部門（研究センター）を設置しています。



1 ジェロサイエンス研究センター

老化に伴って生ずる心身の変化および疾患の発症の要因やメカニズム等、加齢に伴う身体の変化や疾患の病態生理に関する研究、睡眠、再生医療に関する研究を行っています。



2 認知症先進医療開発センター

認知症の予防、診断、治療に資する研究を行い、認知症バイオマーカーの開発、認知症の予防を目指した多因子介入研究など、先進的かつ社会実装を目指した研究開発を行っています。



3 老年学・社会科学研究センター

大規模地域コホート研究を行い、フレイルと認知障害を中心に、自立支援、社会参加、自動車運転などの高齢者の健康問題、社会的問題等に対する実証研究を進めています。



4 健康長寿支援ロボットセンター

高齢者に対する長寿医療および介護の現場でも役に立つ、工学研究の推進、ロボット開発支援、および社会実装相談を行っています。

写真：サイバーダイン(株)提供



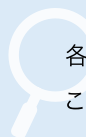
5 メディカルゲノムセンター

ゲノム医療に資する基盤構築と認知症等のゲノム医科学研究を行なっています。また、バイオバンク事業を運営しています。



6 研究推進基盤センター

最先端の研究開発技術を導入した分析などを提供し、研究支援を行なっています。国内では数少ない加齢育成動物の供給（エイジングファーム）を行なっています。



各センターについての詳細情報は
こちらからご覧いただけます。



国立長寿医療研究センター
パンフレット

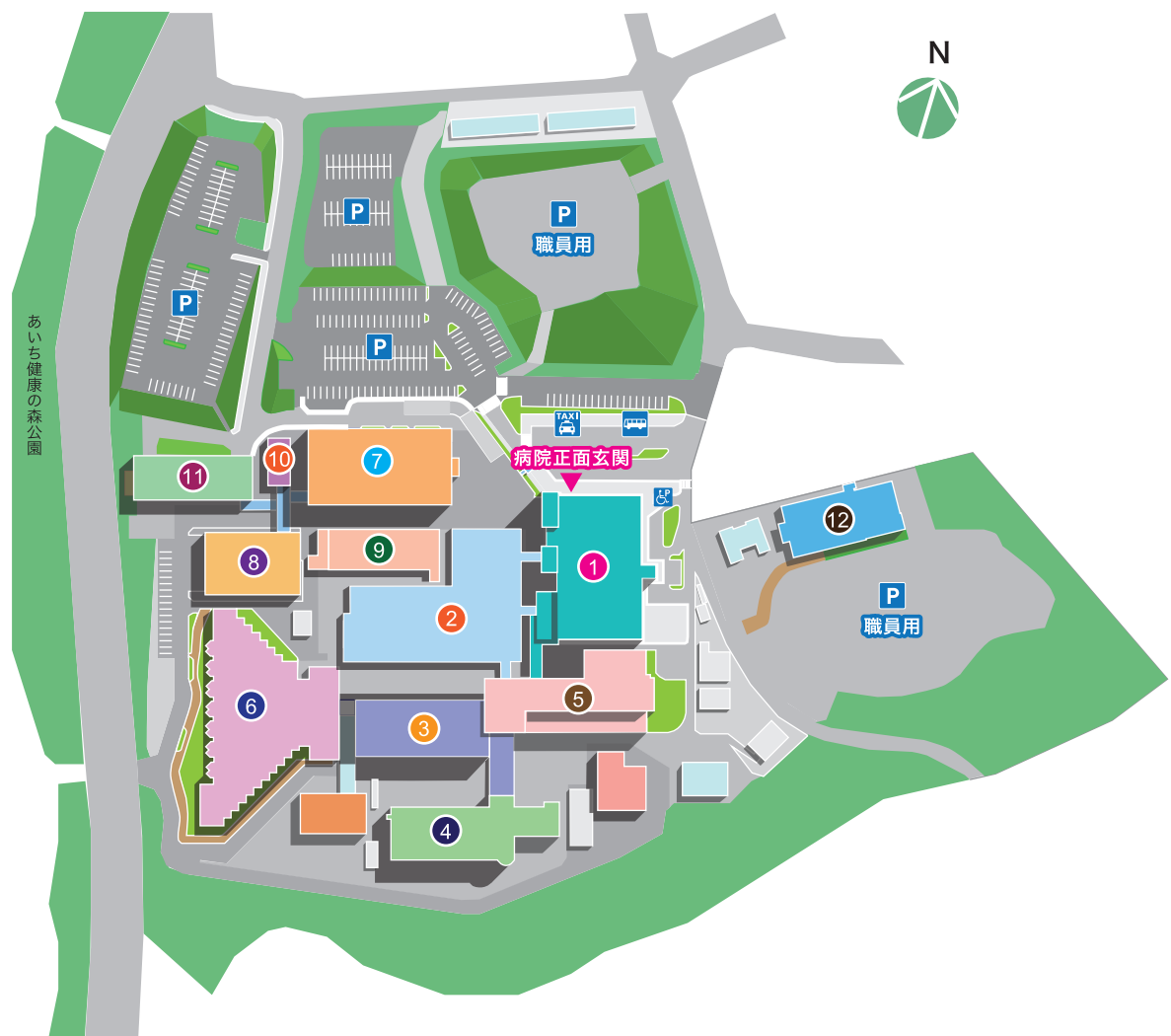


WEB版



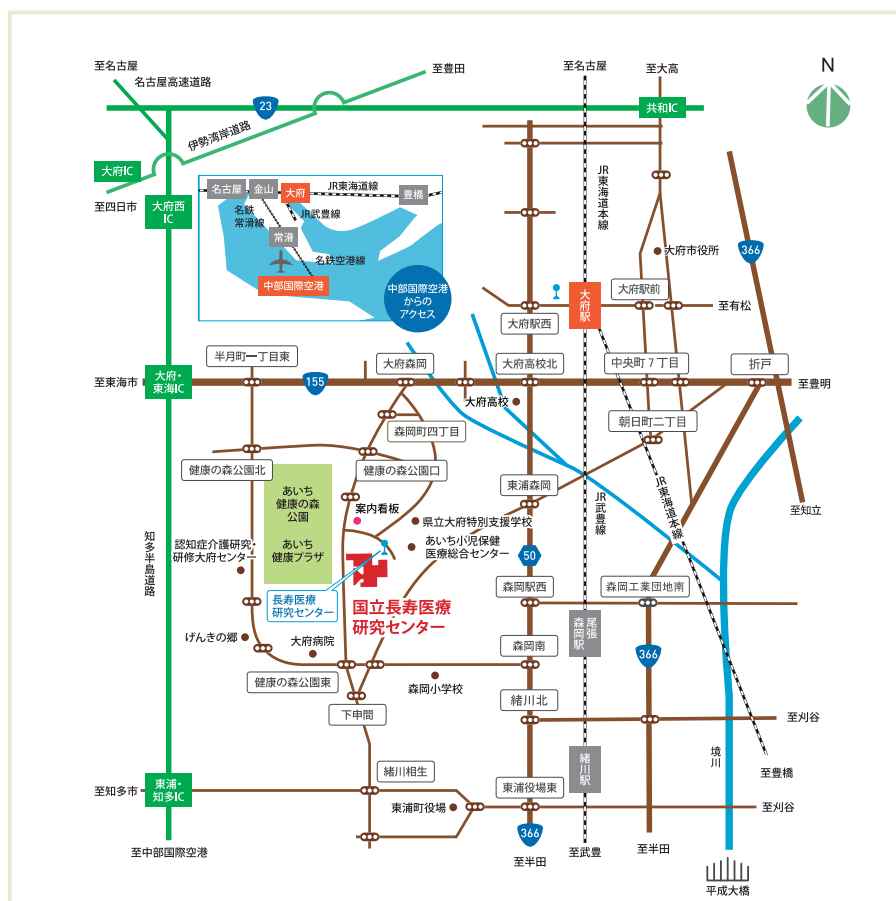
スマホ版

案内図



- | | | | |
|--------------|-------------|-----------|---------|
| ① 第1診療棟(外来棟) | ② 第2診療棟(病棟) | ③ 第3診療棟 | ④ 第4診療棟 |
| ⑤ 第5診療棟 | ⑥ 西棟 | ⑦ 第1研究棟 | ⑧ 第2研究棟 |
| ⑨ 第3研究棟 | ⑩ バイオバンク棟 | ⑪ 実験動物施設棟 | ⑫ 教育研修棟 |
| P 駐車場 | | | |

交通案内



所在地 〒474-8511 愛知県大府市森岡町7-430
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

J R東海道本線 大府駅(西口)から(または大府市内から)お越しの方

- ▶ 知多バス(大府(循環)線)「長寿医療研究センター」下車
- ▶ 大府市循環バス 「長寿医療研究センター」下車
- ▶ タクシー 長寿医療研究センターまで約8分

J R武豊線 緒川駅(東口)から(または東浦町内から)お越しの方

- ▶ 東浦町運行バス(1. 長寿線)「長寿医療研究センター」下車
- ▶ タクシー 長寿医療研究センターまで約10分



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology

| ホームページ | <https://www.ncgg.go.jp/>
| お問い合わせ | 0562-46-2311

